

第 81 回 発電用設備規格委員会 火力専門委員会 構造分科会 議事録

1. 日 時:2014 年 8 月 5 日(金)13 時 30 分～17 時 40 分
2. 場 所:日本機械学会 第 2 会議室
3. 出席者:飯田(東電)、西野(配管技術研究協会)、西田(MHPS 長崎)、高野(中電)
代理者:位田[谷口(川崎重工)]、小原[大橋(IHI)]
欠席者:堤田(MHPS 日立)、豊嶋(ハブcock日立)、黒坂(東芝)、小高(富士電機)
オブザーバ:妹尾(関電)
事務局:原(記)

4. 配布資料

- 81-1 . 第 80 構造分科会議事録(案)
- 81-2 . 構造分科会委員名簿
- 81-3 . 第 68 回火力専門委員会議事録(案)
- 81-4 . 第 69 回発電用設備規格委員会議事録(案)
- 81-5 . 火力専門委員会書面投票結果報告
- 81-6 . 正誤表
- 81-7 . 材料分科会からの検討依頼事項について
- 81-8 . 審議用レビュー票
 - 01 ・中部電力
 - 02 ・MHPS(長船)
 - 03 ・KHI
 - 04 ・東電
 - 05 ・IHI
- 81-9 . 火力発電設備に係る規格の国際適合化について(第 6 回電安小委資料)

5. 議題

(1) 前回議事録確認

[資料 81-1]

前回議事録(案)について確認を行ない、議事録案は承認された。

(2) 分科会委員・役員の承認

[資料 81-2]

新任候補として妹尾氏(関西電力)の火力専門委員会への推薦が、出席委員全員の賛成により承認された。

(3) 報告事項

(3-1) 火力専門委員会報告

[資料 81-3]

第 68 回火力専門委員会の審議内容のうち、火力に関連する内容が報告された。主要な報告事項は以下のとおり。

- ・ 火力専門委員会委員・役員の推薦承認
- ・ 各分科会委員・役員の承認

- ・ 第 80 回構造分科会報告
- ・ 日本規格協会圧力容器技術委員会への委員派遣について
- ・ 専門委員会運営規約改訂案の書面投票開始について

(3-2) 発電用設備規格委員会報告

[資料 81-4]

第 69 回規格委員会の審議内容のうち、火力に関連する内容が報告された。特記事項は以下のとおり。

- ・ 火力専門委員会委員・役員の承認
- ・ 火力専門委員会報告
- ・ 「材料事象に関する解説」について
- ・ 火力専門委員会関連の審議事項はなし

(3-3) 火力専門委員会書面投票結果

[資料 81-5]

火力専門委員会投票 (No. 64) の結果について報告。投票結果は4専門委員会ともに可決で、保留意見等に対する提案者の対応案について、意見者が現在確認中。意見対応に伴う修正が編集上のものと認められれば改訂案が確定される予定。

(3-4) 産構審保安分科会電力安全小委員会での関連情報の紹介

[資料 81-9]

上記委員会の中で今後の方向性として、「JSME規格基本規定(2012 年版)を、火技解釈に取り入れる」との報告があったことが紹介された。スケジュールは、12月に火技解釈の安全率の変更およびJSME規格の採り入れについて、上記委員会にて中間報告がなされる予定。JSME 規格がより注目される規格となることから、本分科会もしっかり対応していきたい。

(4) 審議事項

(4-1) 正誤表作成について

[資料 81-6]

前回の分科会において、各担当者にて担当箇所の正誤表案を作成し、分科会にて審議後、火力専門委員会に付議することとなっている。

今回は、飯田主査から、担当分の正誤表について、資料 81-6 に基づき説明があり、審議を行った。No.11 の UW-13(e)(2)と No.14 の UW-15(a)の修正については、正誤表に入れるべきか(明らかな誤記と言えるか)について、各委員持ち帰り検討の後、各委員の意見を踏まえて決定することとした。その他についても各委員持ち帰り検討の後、気が付いたことがあれば、メールにて各委員に連絡することとした。

(4-2) 材料分科会からの相談事項について

[資料 81-7]

(4-2-1) ASME Sec2 Part D の取り込みについて

発電用火力設備規格詳細規定 2012 の第5章 123.1.2「リストに無い材料」にて ASME Sec2 Part D をそのまま取り込んだ記載になっており、第2章で除外した材料も使用可能となることから、ASME Sec.2 Part D ではなく、本規格第2章の引用とすべきとの意見が材料分科会であったことについて、検討の相談があった件について。

飯田主査より、前回の対応方針に沿って作成した資料 81-7 に基づき、8月4日開催の材料分

科会に確認結果を説明したことが報告された。材料分科会では、「この検討依頼は、2012 年版の書面投票の際に、『各規定の中で ASME 規格等を引用しているところは、JSME 規格の中に取り込み、規格として閉じたものとするべき』との意見があったことも理由の一つ」とのコメントがあり、「この部分の引用は、表にない ASME 材料も限定された範囲で使えると言っているだけなので、引用しても問題ない」との回答をしたことが合わせて報告された。

(4-2-1) ASME Sec. VIII, Div. 1 Subsection C, Part UNF の取り込みについて

材料分科会にて検討している新規材料 CC2652 の取り込みに際して必要となる ASME Sec. VIII, Div. 1 Subsection C, Part UNF の取り込みについて検討依頼の相談があった件。

ASME を引用するという手法もあるが、ASME を持っていない、持っていて英文が分からないというユーザーへの利便性を考慮し、なるべく取り込んだ方が良いという意見があった。しかしながら、ASME を引用しているところは他にも多数あるため、ASME を引用している箇所を整理し、優先度付けを行った上で、必要性の高いものから順番に取り込みを検討する方針とし、Part UNF の取り込みについては、その検討の中で優先度を踏まえて判断することとした。

(4-3) レビュー票審議

[資料 81-1]

(4-3-1) 前回レビュー票審議のフォロー

◎Ⅲ章

- ・ PHRSG-3 (MHPS 長船)
 - ・ PHRSG-3.4 ドレン弁2重化の記載内容について、規格として表現が適切であるかなどの観点から引き続き検討。

◎Ⅳ章

- ・ UW-16 (MHPS 長船)
 - ・ (1),(2)の順番他を確認して見直したことを確認した。
- ・ APPENDIX 24-30 (中電)
 - ・ APP24 全端部水圧力 → 全端面水圧荷重
 - ・ APP26-4 Form26-1,26-1M の取り入れ要否については、否とする。
 - ・ APP26-6.4.2 式 $S_v^* = 2.3S_v$ の係数 2.3 が正しいかについて検討する。
 - ・ APP26-10 full fillet welds については、良い和訳を考える。 → 後日「全厚すみ肉溶接」の提示あり。
- ・ APPENDIX M (東電)
 - ・ APP M 長径エルボ → ロングエルボ とする。

◎Ⅴ章

- ・ 124,125 (東電)
 - ・ 125 「ボルト材料」をガスケットに合わせて、「ボルト」とする。

(4-3-2) 今回レビュー票審議

担当委員の作成した以下のレビュー票案について審議した。

◎Ⅲ章

- ・ PG32～34, 36～39 (小原委員代理、IHI)

- ・ PG32.1.1 K の定義式が2つあるので、1つにする。
- ・ PG32.1.4 (b) $1/4$ 以下の「以下」をとる。
- ・ 図 PG-32 の扱いについて ASME では図が無くなっているが、図を削除すると図の備考に記載されている式の 2.と 4.が無くなり不都合が生じるおそれがある。規格全体をみて、式が無くなることの影響の有無を確認し、対応(図の要否または式の追記の要否等)を検討する。

◎IV章

- ・ UG-24～33(小原委員代理, IHI)は、次回審議。

◎V章

- ・ 105～107(位田委員代理, KHI)
 - ・ 106 クロス継手 → 分岐
 - ・ 106.1.(C) 不連続、不連続性 → 不連続部に統一
拒否 → 不合格などに修正
 - ・ 106.1(E) スピンゴット → スピゴット
 - ・ 107.8.3 VIII章 → IV章 (3ヶ所)

以上のレビュー票審議資料について、後ほどでも気が付いたところがあれば、メールにて各委員に連絡することとした。

6. 次回開催予定

日 時:2014 年 11 月 5 日(水)13 時 30 分～17 時 00 分

場 所:日本機械学会 第3・4会議室

以 上